



AKITA PREFECTURAL YOUTH CENTER



〒011-0905 秋田市寺内神屋敷3-1
Tel 018-880-2301 Fax 018-880-2302
e-mail youthpal@mbe.nifty.com
url http://homepage3.nifty.com/youthpal/

「青少年の拠点として」



青少年交流センター

所長 安藤 巳智子

年明けの豪雪にすっぽり覆われていたセンター裏手の「希望の丘」も、柔らかな陽射しに包まれる3月となりました。

主催事業、セカンドスクールの利用を始めとして、今年度も多くの方々にご参加、御利用いただき、ありがとうございました。

さて、主催事業は2月の「ユース社会参加活動セミナー」で終了しました。進路の決まった学生や社会貢献に関心のある学生等を対象に、社会参加活動の意識を高め合うことをねらいにした事業でした。初日はシンポジウム、2日目はグループワークを行いましたが高中生から社会人まで実に多彩なメンバーで、既存の価値観から脱却したアイデア、提案が飛び交っていました。

こうした活発なやりとりは、多かれ少なかれ、どの主催事業でも見られる光景です。参加者のアンケートでも満足度はかなり高く、各々の参加目的を達成するとともに、期待以上の充実感に満たされている様子が窺われます。

この充実感の要因はいくつか考えられますが、まず挙げられるのは「出会いの多様性」ということです。当センターは、日常属している集団や枠を越えた交

流が生まれる場です。この多様性が、意見交換やワークショップをダイナミックなものにし、ネットワークを広げる力になっていると思います。

二つ目は、プログラムの多くが「参加型」であるということです。我々を取り巻く困難の克服には、若者の課題意識や柔軟な発想が求められていますが、主体的な活動を中心に展開するプログラムは、こうした思考を磨く役割も担っていると考えています。

もう一つ実感していることは、事業に関わっていただいているスタッフや講師の方々との関係が、参加者にとって大きな力となり、事業を離れても生きているということです。文字通りの世代間交流、異業種間交流が生まれ、かけがえのない財産となっているのです。

こうしてみますと、情報の収集・発信に止まらず、新たな関係や発想を生み出す場としての拠点的機能が当センターには求められてきたのだと思います。

運営にあたっては、これまでもあらゆる面で多くの皆様に支えられてまいりました。改めて感謝申し上げます。新年度から、指定管理者による運営に移行することになりますが、今後とも「青少年の交流・社会参加活動の拠点」青少年交流センターへの御理解と御支援をよろしくお願いいたします。

これまでの主催事業から

青少年体験活動総合プラン「なまはげキャンプ」



<なまはげチャレンジキャンプ>

10月31日(日)～11月3日(水)3泊4日の日程で、ユースパルを会場に行われました。参加者は38人(青少年25人)でした。

職場体験では、ホームセンターサンデー、特別養護老人ホーム「一つ森」、特別養護老人ホーム「リンデンバウムいずみ」、秋田県青年会館、レストランユースパルにそれぞれ分かれ、様々な活動を体験しました。



<なまはげメインキャンプⅡ>

1月16日(日)～19日(水)3泊4日の日程で、湯沢市を会場に行われました。参加者は36人(青少年14人)でした。

スキー研修では、3人の講師の方からそれぞれスキーとスノーボードを指導し

ていただき、楽しみながらも充実した体験ができました。



稲庭うどん作り体験では、様々な行程を体験することができ、参加者にも大変好評でした。また、調理の仕方や盛りつけ方も体験し、一人一人が自分で調理・盛りつけしたうどんを美味しくいただきました。

紙風船作りでは、保呂羽山少年自然の家の職員3人に指導していただき、互いに協力しながら二つの紙風船を完成させることができました。また、大空に舞う風船を見て、喜びと感動を得られました。

コミュニケーショントレーニングでは、アドバイザーの江上さんの進行により、「なりたい私」をテーマに、楽しみながら自分自身を表現していました。

大雪の中での実施でしたが、事故もなく、今年度を締めくくるに相応しいキャンプでした。

ユース社会参加活動セミナー



2月5日(土)・6日(日)、青少年交流センターで実施しました。

参加者は、男15人、女21人の計36人でした。

アイスブレイクの後、4人のパネラーによるシンポジウムを開き、ワーク・ライフ・バランスやボランティア活動について知識を深め、社会参加活動への意識の高揚を図りました。

ワークショップでは、「駅」、「願い」、「イベント」、「自然」の4つのグループで「元気な秋田にするためにできること」について活発に話し合いました。発表会では、全員による発表、動作を加えたり発表など、それぞれの工夫がみられ、参加者の意欲の高さが感じられました。



ありがとうございました。そして、これからもよろしく願いたします。

指定管理者からのお知らせ

平成23年度より財団法人秋田県青年会館が指定管理者として秋田県より全館委託を受けました。

これまで青少年交流センターで行ってきました研修事業等につきましても、当財団で引き継ぐことになりました。これまで当センターの運営に御助力賜りました皆様には、今後とも変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。

事業の内容につきましては次のとおりとなります。

平成23年度 青少年交流センター主催事業一覧(予定)

学校外教育活動支援事業	高校生徒会交流会議	県内の生徒会役員が一堂に会し、充実した生徒会活動を推進するための情報交換を行い、生徒会のネットワークを形成します。	5月27日(金)~28日(土) 場所: 青少年交流センター
	高校生リーダー養成「ニューリーダーセミナー」	様々な分野の高校生リーダーが集い、充実した活動を推進するための研修と情報交換を行い、必要な資質の向上を目指します。	11月26日(土)~27日(日) 場所: 青少年交流センター
青少年の自立・社会参加活動支援事業	青少年団体間交流会	ユースパルに入居する団体を中心に、各青少年団体に呼びかけ、各団体間の活動等の情報交換を図るとともに、連携と協力を深めます。	6月11日(土) 場所: 青少年交流センター
	ユースボランティア交流会	青少年ボランティアグループの活動活性化のために相互の交流を図るとともに、充実した活動を行うための資質の向上を図ります。	7月2日(土)~3日(日) 場所: 青少年交流センター
	ユースパルまつり	青少年の社会参加を促進するために活動や発表の機会を提供するとともに、青少年団体の実践活動を行うほか、地域に対する施設の開放を行います。	8月21日(日) 場所: 青少年交流センター
	青少年国際交流事業 ※今年度は韓国訪問	海外青少年との相互交流を通じて交流先の文化や歴史を学ぶとともに国際感覚を身につけ、グローバルゼーションに対応する青少年の育成を図ります。	7月下旬
	対人関係向上セミナー「ユースパル夜学塾」	よりよい人間関係を作っていくための方法などを体験学習を通して学び、コミュニケーション能力の向上を図るとともに、職場等の枠を超えた交流を図ります。	10月19日(水)~22日(土) 場所: 青少年交流センター
	文化活動発表展	ユースパルを拠点又は利用する青少年団体等や高校生、大学生のほか地域の人々を含めた文化活動の成果を発表・提示する機会として行います。	11月5日(土)~6日(日) 場所: 青少年交流センター
	ユース社会参加活動セミナー	社会人としての心構えやボランティアなどの社会貢献について考え、社会活動促進に必要な基礎知識の習得を図ります。	2月11日(土)~12日(日) 場所: 青少年交流センター
	なまはげキャンプ	対人関係の苦手な青少年に、体験活動をとおして自主性や社会性を育て、心身ともに健康な生活ができるきっかけ作りを行います。	未定
	青少年の居場所「ゆうスペースAKITA」	青少年への居場所提供とボランティア団体等と協力して相談活動等多様な活動を行い、青少年の健全育成を図ります。	通年 場所: 青少年交流センター